

Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 小原 得 雄 編集責任者 足 立 聡 印刷所 東京印刷(株)

平成9年度

鳥取県 中小企業青年中央会 経営研修会開催

鳥取県中小企業青年中央会経営研修会が、11月28日(金)にホテルわこうにおいて開催されました。講師の先生には米子市出身で運輸省各課各室でキャリアを積み現在北海道総合企画部交通企画課長の赤澤亮正先生をお迎えし、「鳥取県における交通体系の現状と今後の課題について」と題してご講演頂きました。講演の骨子として、運輸省の仕事、運輸官僚の生活、発想について。新しい交通のあり方に関するアイデア。そして鳥取県の交通問題に関する処方箋について切り口さわやかにお話し頂きました。



運輸省においては、平成13年までに規制の緩和もしくは廃止がほぼ完了し、現在進行中の行財政改革で国土交通省として新しく生まれ変わるにあたり、運輸行政と道路都市行政の一体化が求められ、規制緩和が進むにつれて安全面と環境面の規制以外は特になくなり、生活路線として確保されていた交通手段が確保困難になる地域もでてくる事は否めない事実である事を説明されました。また、国際間における航空問題においても官民複合体の理論で政策を持つアメリカ等と肩を並べて議論する日本のオープンスカイの問題等も今後の課題である事をお話し頂きました。

これからの行政の進む道としては、縦制行政の枠を超えたところでそれぞれの省庁が協調協力体制をひく事は必至であり国の目指すべき方向も、国内においても世代間においてもあるいは国際間においても配慮国家(Caring Power)という新しい目標に向かって進むべきであると話されました。

現在の交通問題を考えると公共交通機関の衰退をもっと問題視して、将来的には社会参加を阻害される立場の人にとって大きな問題となってくる事を懸念されました。今の社会は車依存の社会であり、その影響が資源問題、環境問題にも波及している現状を打破するためにも、新しい発想、新しい目標を持続可能な交通システムを確立し、柔軟性に富み地域社会システム性、ネットワーク性を最優先に考えられるシステムの構築を望まれる事を話されました。

そのためにも、交通の範囲が柔軟であるバスが、改善のポイントを押さえて行けば、高齢化社会に十分に対応するシステムによりみがえって行く新しい公共交通システムになり得る事を話されました。公共交通機関は都市装置としての整備である事をよく認識し新たな可能性を見いだして行く事が必要のようです。

鳥取県は、交通機関としての自家用車の分担率が昭和58年に65%に達し、平成5年には82.1%(全国平均は58.7%)にまで及んでいます。また、全国でも上位にはいる高齢県でもあります。日本国内では2010年に5人に1人が高齢者という現状と言われていますが、鳥取県では既に1995年にクリアしているのが実状です。

端的に言えば、自家用車の運転が出来なくなってくると、外出が困難な状況になりいずれは寝たきりを余儀なくされてしまうのが推測されます。また、老人の看護で疲労困憊し高齢女性の自殺率が世界第3位と、とても恐ろしい事実と直面しているようです。そのためにも、日常生活が公共交通システムで整備されて、どこにいくにも、どのような状況においても臨機応変に対応できる公共交通機関の整備を地域コミュニティの自営手段として真剣に考える必要がある事を鳥取県の処方箋としてご提案頂き講演を閉じられました。

その後、懇親会が開かれ、秋田県会長のテーマである「交流」を十分に行い研修会は幕を閉じました。

平成9年度青経連合同講演会



11月19日(水)サンシャイン平安閣で平成9年度青経連合同講演会が、東亜大学学長安部一成氏を迎えて行われた。「合併による地域再編成の必然性・必要性」という演題が示すように、氏は合併推進派であり、近い将来「道州制」が導入さ

れるだろうと予測する。

現在全国で250の市町村を巻き込む60の地域合併がすすめられているが、その中で氏が直接かかわった山口市を中核都市とする4市4町の合併問題を例にして話がすすめられた。高速交通網の発達とともに広島・北九州・福岡といった大都市間に埋没するのではないかとのおそれから30年前か

ら話はあり、10年前に協議が始まったが、やり方に問題があったためその後の進展がないとのことである。

合併の目的は『広域化・地方分権化』であるが、あくまで自立・自活の方向ですすめられなくてはならない。そのためにも、産業力の強化・高度都市機能の集積化が不可欠であり、わが鳥取県西部地区もコストと便益のバランスが最もよいとされる人口20~40万人でこれらの課題が達成できれば、中国地方での拠点都市になり得るとのことだった。

合併のアプローチの手順は、第1に住民の意見をよく聞き、「地域づくり」の観点から将来にわたる欲求を正確にとらえる。第2に将来(2010年くらいまで)のシミュレーションをしてみる(人口の高齢化・財政、産業の変化、また合併のメリット・デメリットを計測)ことが大切である。第3に地域範囲の決め方は地理的一体性がある半径20km内外が適当。第4に中心となる都市が周辺の地域を支えられるかどうか。これらを体系的にかつ慎重にすすめることが大切とのことだった。

最後に安部氏は合併に関する協力を約束され、43名の出席があった青年中央会、小原会長の謝辞で閉講した。

11月例会報告

11月17日、11月例会は米子国際ホテルに於いて開催され、参加会員数百名と久々の3桁台での元気な綱領唱和からスタートしました。

今月例会は経営委員会の担当で徳中会員の司会の元、青年中央会野球部についてメンバー、ユニホーム紹介を頂きました。10年前に創部以来勝運に恵まれず苦勞、苦戦の連続でしたが、2年前に初白星を挙げ、今年は4勝2敗1分と立派な成績でシーズンオフに入るそうです。新入部員募集もしていますので各部員までお問い合わせ下さい。

この後、(社)日本経済研究センター大阪支所長上村千明氏による「中小企業の生き残り策—改革の成果をどう活かすか」の演題で講演が行われました。おりしも当日北海道殖産銀行の



業務停止が発表された中、上村氏は元新聞記者の目を見た都市、地方の中小企業の静、動、生き残り、また橋本内閣に於ける行政から規制緩和での経済効果等、中小企業の展望についてご講話されました。また氏は元々米子市出身との事で質疑応答では県西部の事を熱く語って頂きました。

OB交流会

本年度はソフトボール対決 三役チーム11点差逃げ切れず優勝を逃す



前日までの悪天候がうそのような絶好のスポーツ日より恵まれ、OB諸兄との親睦ソフトボール大会が11月1日(土)東山グラウンドにて行われました。午後1時15分山本良文副会長の機知に富んだ選手宣誓の後、高田

孝志審判長より日本ソフトボール連盟の規則に則ったルール説明を受け試合開始。1回戦第1試合は小原会長、松本直前会長率いる三役チーム対OBチームBの対戦。開始直後から両チームとも長短ヒットとホームランの山を築くものですが若さの三役チームが辛勝。続く第2試合はOBチームA対現役チーム。初回から猛打のOBチームは宮崎OBのホームランを含む大量11点をあげられ、まさかソフトボールでのノーヒットノーラン…かと思いきや、釜田会員が最終回レフト前ヒットを打ち何とか面目を保つ。その後三位決定戦(最下位決定戦)では、OBチームB対現役チームの試合が行われ、序盤2点をリードされた現役チームは最終回に松本正志会員の逆転2ランホームランで劇的なサヨナラ勝ちをおさめ三位。

決勝戦はOBチームA対三役チームの間で行われました。力に勝

る三役チームは容赦なく長短交えたヒットとホームランを打ち大量11点のリードのまま最終回を迎えました。さすがにOBチームは、手加減のない三役チームに多少の憤りを覚えた模様。しかし逆転の夢を捨てず、なんと11-8まで近づきランナー1塁2塁の場面で宮崎OBの打順。固唾をのんで見守る現役、OBの前で狙ってましたとばかりにセンターオーバーの同点ホームラン。もう勢いは止まらず、12対11でOBチームAの見事な逆転サヨナラ勝ち。



試合後、場所をホールサムイン皆生に移し懇親並びに表彰が行われ、珍プレイ賞には、ボールをストライクとジャッジしOBチームに勝ちをもたらした谷口会員。好プレー賞にはセンターオーバーのフライを追っかけフェンスを壊してホームランにした鈴木OB。ハッスルプレイ賞にはこれまた鈴木OB。特別賞(小原会長賞)には優勝監督である和田OBに牛たんのくんせいが贈られ、MVP賞はホームラン3本の宮崎OBが選ばれ、ムードは絶頂。大盛会のうちに閉幕いたしました。総務委員会の皆様、野球部の皆様大変お世話になりました。ご苦労様でした。

新入会員オリエンテーション

11月14日(金)国際ホテルにおいて、新入会員のオリエンテーションが行われた。小原会長、山本副会長、宮廻・景川・野嶋の3監事、角田委員長、事務局より足立氏が6名の新入会員に相対する形で始まった。

まず会長の挨拶、西部青年中央会の事業計画の説明が行われ、足立氏より県の中央会の活動、続いて景川監事より組織についてのレクチャーがあった。再び足立氏より中央会設立の経緯、概要が説明された。22年前の発足時とは中央会そのものの変化とともに、外部環境の変化、中央会に対する評価もかわってきたという話があり、さらに新たな事業展開の場にしてほしいとのことであった。

そして、20周年記念式典、夢みなと博衛星中継のビデオを見ながら野嶋監事から中央会の歩み、歴代会長の取組などについて、また

角田委員長より今年度の委員会活動についての説明があった。最後に宮廻監事から新入会員としての心構えについて、会則・規約から始まり、新入会員への提言、研修課題などたくさんの宿題が出された。

予定よりも相当時間が過ぎていたが、会長の計らいで簡略することなく、新入会員の方々が十分理解できるようにすすめられた。籍だけ置いている『ペーパードライバー会員』も今一度受けて頂きたいようなオリエンテーションだった。



11月度委員会報告

政治行政委員会

平成9年11月5日(水) 於:米子食品会館 出席者/11名

演題/『崎津工業団地の開発利用について』

講師/米子市役所企画部

部長 松岡 泰則氏

資料/中海周辺観光ガイドMAP

米子市報「崎津工業団地の土地利用計画」etc.

内容/JRA誘致のきっかけ～経済効果予想 etc.

会長も出席して頂き、会は盛り上がり大半の会員から、質疑・意見が出て建設的な会であった。

社会プロブレム委員会

平成9年11月10日(月) 於:米子食品会館 出席者/10名

テーマ/『障害児教育との出会い』

講師/境港市立第三中学校教諭

山本 淳一氏

内容/話を聞く前は、私達にとって障害児を見る目はすこし遠くから見ていた様に思っていたが、話を聞くにつれて、もっと身近なものと感じた。物事をちょっと反対から考えるということで、いろいろな考え方が出来るんだと思った。出席者全員が、自身のことの様に心に感動をうけた講義であった。

地域ビジョン委員会

平成9年11月13日(木) 於:菊乃家 出席者/9名

内容/忘年会

柴野会員のお世話になり、おいしい料理と菊の屋オリジナルの日本酒を堪能しました。

経営委員会

平成9年11月5日(水) 於:大連 出席者/12名

内容/11月担当例会の打ち合せ

- (1) 各担当の決定
- (2) 委員会タイムの担当者決定
- (3) 講師との事前協議の為の上阪者決定及び打ち合せ
- (4) 講師との懇談会の場所、担当者の決定

情報メディア委員会

平成9年11月11日(火) 於:米子食品会館 出席者/10名

内容/広報委員会との合同委員会による12月開催の忘年例会の打ち合せ

アトラクション思案についての検討

各セクション担当者の決定及び全体の流れ

次回の委員会でのリハーサルについて

最終打ち合せ(合同委員会)の決定

金融委員会

平成9年11月21日(金) 於:海鮮ろばた海王 出席者/13名

内容/今回は、来年1月に当委員会が担当する例会の企画について、打ち合せ後、忘年会を開催しました。

広報委員会

平成9年11月11日(火) 於:米子食品会館 出席者/11名

内容/12月、1月ハンサム打ち合せ

12月忘年例会について打ち合せ

総務委員会

平成9年11月13日(木) 於:ホールサムイン皆生 出席者/12名

内容/◎県経営研修会について

◎谷口県出向より懇親会、ゲーム、担当の依頼有り

ゲーム内容及び担当者の決定

◎12月忘年委員会担当者決定

◎角田委員長より青経連講演会出欠の確認

◎規約、会則改正については次回持ち越し

21地球委員会

平成9年11月10日(月) 於:第1部 王子製紙(株)米子工場 出席者/9名

於:第2部 食品会館 出席者/12名

講師/向井哲朗氏(王子製紙(株)環境管理室上級技師・日本グラウンドワーク協会専門委員・鳥取県環境アドバイザー)

内容/1. 王子製紙(株)米子工場リサイクル施設見学

2. 地域のリサイクル・環境整備事業への取り組み

3. 家庭での環境改善について

向井氏は割り箸の回収再生・廃天ぷら油の回収再生利用・環境美化清掃活動・中海の水質浄化運動など、「産・官・民・学」が一体となった地域での実践的な環境改善運動(グラウンドワーク)を精力的に推進されており、地域住民が環境問題に関心を持ち、身の回りの出来る事から一つずつ実践していく事の大切さをビデオや実際の実験なども交えながら非常にわかりやすく説明して頂いた。

我々の意識の持ち方一つで環境が良くも悪くもなるという認識をますます深めさせられる結果となった。

JRAウインズ高松視察

政治行政委員会

瀬戸大橋を渡りきった時、アクセルを踏む足の軽さを感じながら、瀬戸中央道に別れを告げ久しぶりの国道11号線に車を進めた。左手方向の山のふもとに我両親の姿を思い浮かべるも東の間、交通量が次第に増えていく中、まもなくしてJRAウインズ高松に無事到着しました。そうです私たち政治行政委員会の特別研修の行く先は高松なのです。本日のメンバーを紹介させていただきます。小原会長、角田総務委員長、そして当委員会のメンバーが5名、植田会員、加藤会員、中森会員、平野会員それに私です。まだ眠気も覚めないうちの出発ではありましたが、今私たちは多くのガードマンの指示に従ってゲートに向かう人の流れの中にいました。近代的なシルバーグレイ系の建物と競馬新聞を片手に早足に歩く人々の姿がやけに妙な取り合わせではありませんか。

まず私たちは、場外調査部の米田氏とウインズ高松の須藤所長両氏に連れられ、ドアひとつ隔てた全く静かな別世界であります研修室に案内されました。ウインズ高松の施設説明、現状報告、



諸問題等々、できる範囲内での説明を頂きました。四国の玄関口として知られる高松市に全国で23番目のウインズが開設され、従来の郊外型とは少し違って身近に感じられるようなスペースとして創りあげられているそうです。その特長として1FにはPRコーナーやカフェテリア等、3Fには地域住民施設を設けており地元への気づかいが感じられました。この施設では、一日平均来場者予測数が約7,000名、開催日は土、日が原則で年間104日、中央競馬の京都、阪神、中京、小倉等のレースを主体に全国の重賞競争も投票券が発売されている。従業員は正社員が6名で女性パートが180名程度いるそうです。昨年度の売上は257億円、入場者数は90万9500人、車の来場台数は40万4000台だそうです。施設の規模以上に動くお金の量に驚嘆しました。青少年への影響、暴力行為等隣り合せの諸問題については、ガードマンの必要以上の配備や隠しカメラの設置など、決して完璧とは言えないが、徹底的に対処しているらしい。積極的な質疑応答も終え、

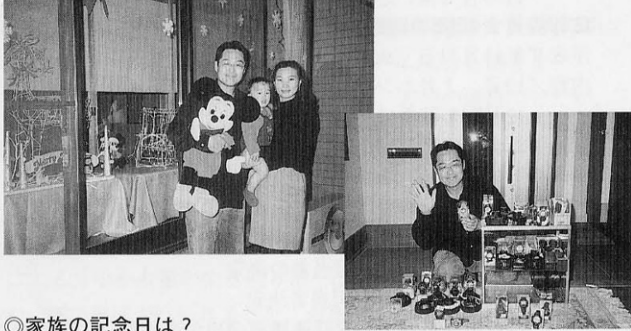
競馬はドラマと感動があるという誰かの言葉を思い出しながら、再び扉の向こうの血気さかんな群衆の中に入っていました。

最後に一言、今回の視察研修において、またひとつ何かを勉強することができたような気がします。本当に有意義な一日でした。お疲れさまでした。

お父さんの通信簿

武海 章 (社会プロブレム委員会) の家の場合
 妻・博華さん・幸信君 (1才3ヶ月) の巻

◎このコーナーでは、普段着姿の会員を家族の皆さんに語っていただきます。



◎家族の記念日は？

結婚は'92年6月7日 新婚旅行は本場ディズニーランド
 夫 妻の誕生日にはプレゼントを欠かしたことはない(!)

◎中央会の名目での外出は？

妻 月に4回程度 (正直者である) 但し、呑みに出るとい
 つも午前様。はやく帰って欲しい♥

◎結婚後、惚れ直したところ

妻 知らないことを聞くとなんでも即答する (百科事典替
 わりに使われているのか?)

◎やめてほしい『クセ』

妻 時々、兄のパンツをはいて仕事からかえること。
 夫 男兄弟では当然のこと (だろうか?)

◎ふたり共通の趣味は？

夫・妻 ありません。お互い協調性がないもの。

◎夫にいわれた言葉の中で一番うれしかったこと

妻 (心底しあわせそうに) 愛してるよ。

新しい戸建て、帰りを待ちわびる美しい妻、愛くるしい子
 供、順調な仕事、何一つ不満がないかのような生活である。中
 央会の会合も多く、仕事も立て込み2週間ぶりという一家団樂
 のところに邪魔したにもかかわらず、暖かいもてなしを受け、
 取材の二人は感激。イジワルな質問にも快く答えて頂いた武海
 ご夫妻、ありがとうございました。

聞いてごしない Part 11

九州からの手紙

20年程前の私は、博多の町で下宿生活をしていた。午
 前中は土木工学の講義に出席、午後は実習と称して作業
 着に安全グツというつま先に鉄板が入った (鉄骨などの
 重いものに狭まれても大丈夫なように) 恐ろしく重い長
 グツをはいて、スコップや測量機器をかついでキャンバ
 スの中をうろろろしていた。高校時代にテレビドラマで
 見た大学生活とのあまりの違いに愕然としたものだった
 …。このままではいかんと思ひ、クラブ活動でもしよう
 と同級生のその方面に詳しいのがいたので声を掛けた。
 これがいけなかった。「それはいい!! よーしまかせと
 け! まず俺の先輩の方がいろいろ詳しいからいっしょに
 訪ねてみよう」と、誘われるままに、結局その先輩のク
 ラブに入会させられてしまった。それからの日々は、昼
 は土木会館、夕方からは武道館という生活。中村雅俊の
 ドラマとは異次元の世界にトリップしてしまった。四年
 間 (正確には五年間) の大学時代、入賞3回、優勝2回、
 骨折5回、死ぬかと思ったこと数知れず…。卒業し、命
 からがら博多より脱出した時は、本当に嬉しかったこと
 をおぼえている。

先日大学の同期生から手紙が届いた。クラブの設立四
 十周年演劇会の案内と広告依頼であった。OB会の世話
 役をしている様だ。20年前、結構しんどい毎日であった
 が思えば今とは比べものにならぬ程の余裕があらゆる
 人々の生活に残っていた様な気がする…。

「たまには博多に行ってみるか…。」とひとり言を言いな
 がら返事の筆を執った。

海王丸

コピーをして名簿にお貼り下さい

12月例会案内

と き 12月15日 (月) 18:30~ (時間厳守)

と ころ ホテルわこう

内 容 忘年例会

担 当 情報メディア・広報委員会

※出席の有無を12月11日までに返信ハガキにてご回示下さい。
 ゲームを行いますので500円玉をご用意して来て下さい。

12月役員会報告

12月定例役員会が平成9年12月1日 (月)、海王に於いて開催さ
 れた。

当日の主な議題は、次の通りです。

(1) 12、1、2月例会開催の件

(2) 厄落としの会開催の件

(3) その他

※尚、詳細については、各委員長までご照会下さい。

編集後記

都市銀行、準大手・大手証券会社の倒産と今までの常識では
 考えられないことが次々起こっている。こんな時代だからこそ、
 頭の中をニュートラルにして、リフレッシュしてみよう。 酔仙